

平成 31 年 2 月 20 日
予 報 部

台風強度予報の 5 日先までへの延長について

気象庁は、台風に関する強度予報をこれまでの 3 日先までから 5 日先までに延長します。平成 31 年 3 月 14 日からは、台風の進路・強度ともに 5 日先までの予報となり、防災対応における一層の活用が期待されます。

気象庁では、平成 30 年（2018 年）6 月に更新したスーパーコンピュータシステムによる計算能力の向上や、台風の最大風速や中心気圧などの強度をより正確に予測するための技術開発を行ってきました。

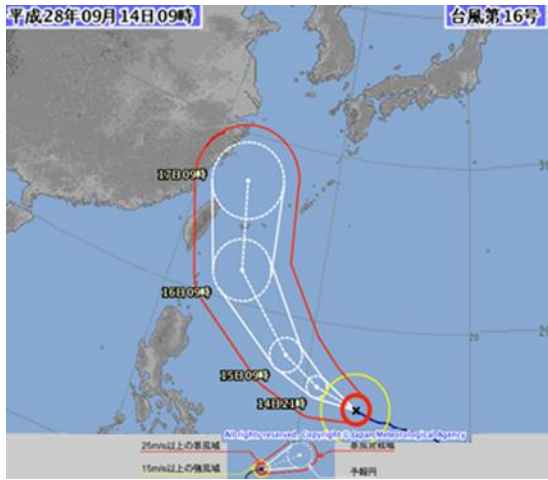
今般、これらの準備が整ったことから、平成 31 年（2019 年）3 月 14 日 12 時（日本時間）以降、最初に発生した台風から、現在 3 日先まで発表している強度予報（中心気圧、最大風速、最大瞬間風速、暴風警戒域等）を 5 日先までに延長して発表します。これにより、気象庁の発表する台風予報は、進路・強度ともに 5 日先までとなります（図 1）。また、台風の暴風域に入る確率情報も、現行の 3 日先までから 5 日先までに延長します（図 2、3）。

なお、5 日先までの強度を含む台風予報は、従来の 3 日先までの台風予報と同じ時刻・頻度で、1 日 4 回発表します。

これにより、4 日先以降の暴風警戒域等に関する情報を新たに提供できるようになるため、台風接近時の防災行動計画（タイムライン）に沿った防災関係機関等の対応を、これまでより早い段階からより効果的に支援することが可能となります。

問合せ先：予報部予報課アジア太平洋気象防災センター 担当 石原
電話 03-3212-8341（内線 3137） FAX 03-3211-8303

< 現行の3日先までの進路・強度予報 >



< 現行の5日先までの進路予報 >



< 5日先までの進路・強度予報 >

非表示 台風第XX号	
台風第XX号 (チャリ)	
平成XX年XX月01日10時20分 発表	
存在地域	東シナ海
予報円の中心	北緯 28度30分(28.5度) 東経 128度30分(128.5度)
進行方向、速さ	北 20km/h(12kt)
中心気圧	950hPa
中心付近の最大風速	45m/s(85kt)
最大瞬間風速	60m/s(120kt)
予報円の半径	410km(220NM)
暴風警戒域	全域 520km(280NM)
《05日09時の予報》	
存在地域	東シナ海
予報円の中心	北緯 30度25分(30.4度) 東経 124度40分(124.7度)
進行方向、速さ	北北東 25km/h(14kt)
中心気圧	950hPa
中心付近の最大風速	45m/s(85kt)
最大瞬間風速	60m/s(120kt)
予報円の半径	480km(260NM)
暴風警戒域	全域 590km(320NM)
《06日09時の予報》	
存在地域	西日本
予報円の中心	北緯 33度25分(33.4度) 東経 129度30分(129.5度)
進行方向、速さ	東北東 50km/h(28kt)
中心気圧	960hPa
中心付近の最大風速	40m/s(75kt)
最大瞬間風速	55m/s(105kt)
予報円の半径	600km(325NM)
暴風警戒域	全域 710km(380NM)

3日先

4日先

5日先

4・5日先に中心気圧、最大風速、最大瞬間風速、暴風警戒域を追加

図1 気象庁ホームページの表示イメージ

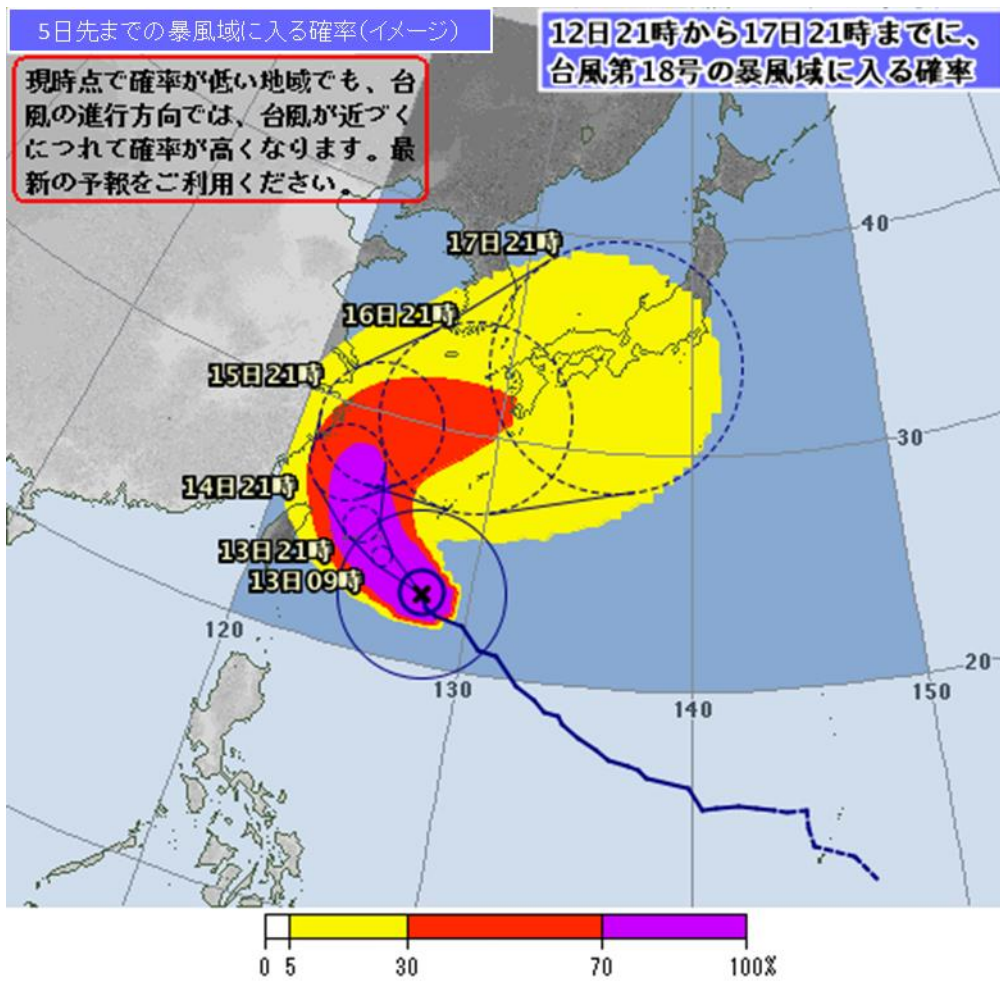


図2 台風の暴風域に入る確率（分布図）のイメージ

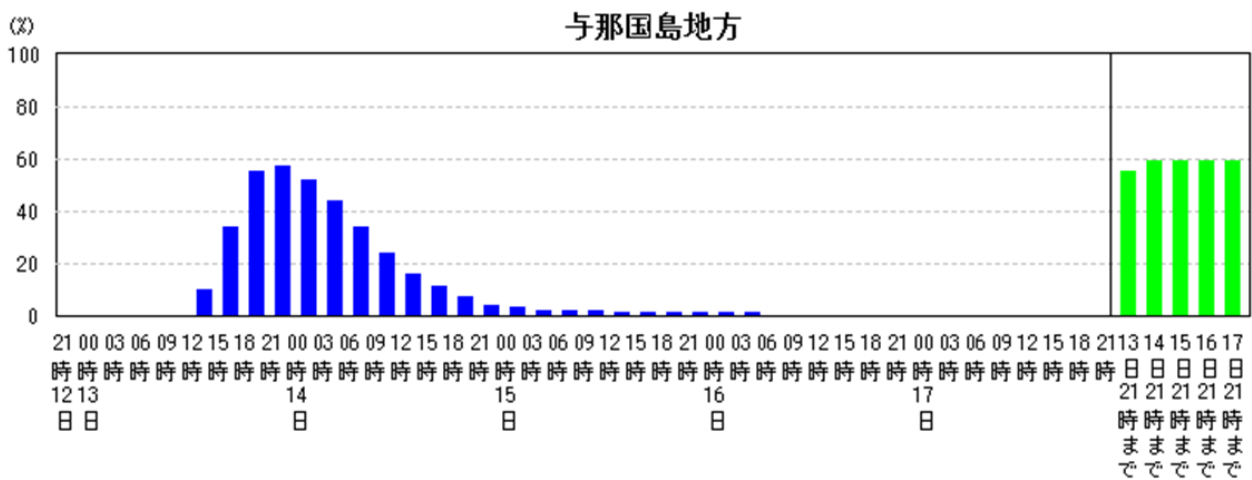


図3 台風の暴風域に入る確率（地域ごとの時間変化）のイメージ